

# 令和元年度学生懸賞論文審査結果について

令和2年2月13日 大分大学経済学部教育研究支援室

本年度の学生懸賞論文には26編の応募があり、審査の結果次のように入選者を決定しました。

(審査委員：城戸照子，市原宏一，秋山智恵子，渡邊博子，高島拓哉)

## 1等 1編

希少品種農作物の産地形成をめぐる課題 —鹿児島県・喜界島における在来白ゴマ産地化の過程から—  
1621041 岩永 美穂

## 2等 2編 (順不同)

大企業の社宅街再開発が地域の土地利用および社会に与えた影響  
—北九州市戸畑区一枝地区を事例として—  
1621121 小城 悠人

Sustainable Fast Fashion? : Differentiating Rhetoric from Reality  
1621139 佐田 瑛香

## 3等 2編 (順不同)

地域の郷土芸能の存続における高校の郷土芸能部の役割 —部員のライフコースに注目して—  
1621009 秋吉 美帆

ローカル・ガバナンスと住民参加 —大分市の地域防災士と大学生ボランティアへの調査から—  
1721168 田辺 天音 1721166 田中 慎一 1721810 堀金 伽奈 1721259 宮武 周平

## 佳作 4編 (順不同)

大分県安心院町における農泊の課題と内発的発展から見た今後の持続可能性  
1721160 武氏 一真 1721803 石津 里菜 1721096 久保川 愛 1721229 藤田 沙也

由布院とオーバーツーリズムの将来 —観光客と地元住民の調和を目指して—  
1721108 高力 萌 1721031 岩田 優里 1721073 加藤 瑞紀

宇佐市安心院町を事例とするグリーン・ツーリズムと農村再生  
—“おかあさん”と生徒の体験を活かして—  
1621120 古椎 佳純

## 地方高齢者の健康寿命延伸とソーシャル・キャピタル

—豊後高田市でのノルディック・ウォークイベントを事例として—  
1721179 土井 宏泰 1721184 苗村 典明 1721017 一尾 佳史 1721235 冬野 亘  
1721241 堀川 大聖 1721262 向井 省吾 1721129 佐藤 響

なお、下記の応募論文17編は選外となりました。(順不同)

農産物共用加工施設の利用実態と地域の6次産業化の課題 —喜界島のゴマ加工を事例として—

平 妃華莉

対人サービス業における空き家バンク制度の意義と課題 —大分県杵築市を事例に—

田中里奈

農産物直売所の集荷競争 —長崎県諫早市における農産物直売所の集荷対応と見通し—

谷川 葵

耕作放棄地発生の背景と対策 —大分県豊後高田市の樹園地を事例に—

佐々岡 礼奈・神 真梨花・林 大河

地方の若年単身世帯の食品ロスの実態 —大分市の大学生の実態調査を踏まえて—

矢野 将司・天野 晴貴・寒川 菜央

観光業による豊後大野市の活性化に向けての課題 —ジオパークによる地域振興—

衛藤 晋太郎

フェアトレードをめぐる理想と現実とのギャップ —日本のフェアトレードファッションを事例にして—

西河 ゆかり

内部留保増加の経緯

米村京志郎

「雇用の奇跡」と呼ばれたドイツ労働市場の実態

下郡 貴彩

アパレル業、ホテル業における直接原価計算の有用性 —派生型としての固定収益会計の活用—

荘田 智己・河内 健太郎・大北 省吾・緒方 裕昭・尾崎 里菜・古賀 汐美・惟住 菜月・城野 有紀・白石 朝香

若年層の観光の動向からみる大分県へ誘客する方法に関する考察

櫻井 将樹・小島 大岳・満行 亮太・寺田 遊路・小野 実咲

なぜ、世界でPFIが進むのか —水道から見る理由とリスク—

都 優毅

将来的なコミュニティバスの利用促進と体験試乗の関連性 —豊後大野市三重地区で実施した「大人社会見学VI」を通じて—

孝忠 桃佳・三浦 真輝・武石 康希・古川 歩昂・平川 誉紹

株主優待への期待 —CARから見る投資家の株主優待に対する評価・影響とは?—

園田 和寛・粟田 祥人・金田 大星

グローバルサプライチェーンから見た米中摩擦と米国の発展

越智 郁子・梶原 悠暉・伊藤 翔太・新名 恭之・細田 恭平・山田 朱音

地方創生政策を補完する地域の人的ネットワーク —大分県佐伯市の地域活動を事例として—

新名 祐志・夏井 りな・益田 旭・村田 大輔・山本 育美

現代の終活のあり方 —若い世代は終活もデジタルから—

河野 綾子